

平成21年度第5回SPODネットワークコア運営協議会概要

日時：平成21年10月22日（木）13：00～15：30

場所：愛媛大学本部第2会議室

出席者：徳島大学 曾田教授、田中特任助教、吉田特任助教、森川学務課事務補佐員
出川学務課長、福川学務課教育企画係長

香川大学 葛城准教授、佐藤講師、篠原給与福利グループチーフ、野口修学支援グループチーフ

高知大学 俣野講師、末本学務課専門職員、中澤人事課SD担当事務員

愛媛大学 小林教授、秦准教授、城間助教、大竹特定研究員、久保特定研究員、
板橋経営企画部長、米澤人事課長、大谷人事課副課長、

米田人事課人事政策チームリーダー、塩出人事課人材開発・サービスチームリーダー、
上田人事課事務補佐員

川上教育学生支援部長、西尾教育企画課長、河野教育企画課教育企画チームリーダー、
石川教育学生支援部員、大野教育企画課事務補佐員

議題等：

（1）SPODフォーラム2009の総括について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料1-1～2に基づき、SPODフォーラムに全体（学生、遠隔講義システム利用）で425名の参加があり、事後アンケートでも高評価をいただいたとの説明があった。引き続き、資料1-3～6に基づき、SPODフォーラム時に同時開催された総会について愛媛大学西尾教育企画課長から、FD分科会について愛媛大学小林教授から、SD分科会について愛媛大学米澤人事課長からそれぞれ説明があった。また、各コア校からSPODフォーラム2009について、以下のような意見があった。

- ・参加者から高い評価をいただいているので、来年度以降も継続すべきである。
- ・開催日程（土日を含めるかどうか）や会場について検討する必要がある。
- ・補助金が配分されていない大学等も参加しやすい仕組みづくりを検討する必要がある。
- ・SPOD事務局から講師に対して双方向型の研修を行うよう依頼はあったが、その内容が講師に十分伝わっていなかったプログラムもあったようだった。事前に内容のすりあわせ等の準備が必要ではないか。また、参加者にも双方向型のプログラムであることの周知を十分に行うべきではないか。
- ・講師として初めて遠隔講義システムでのプログラム配信を行ったが、遠隔に向き、不向きのプログラムがあることがわかった。次年度以降は、厳選して配信するとともに、講師の負担を考えたプログラムづくり（遠隔システム配信にのみ対応するプログラム等）を検討する必要がある。このほか遠隔システム用のマニュアル（配信側、受信側）を作成する必要がある。
- ・プログラムに2時間ものだけでなく、1時間ものも作ることを検討したほうがいい。
- ・定番とするプログラムとそうでないプログラムやフォーラムとフォーラム以外のプログラムの関連性、すみわけを検討する必要がある。
- ・プログラム構成の検討が必要である。共通スキルのプログラムと規模別のプログラムを作成した上で、参加者が受講する時にどのプログラムを受講すればいいのかわかりやすく示す必要がある。

愛媛大学西尾教育企画課長から、アンケート調査の結果及び今回の議論については、持ち帰り、引きつづき、次回のコア協議会で議論することとなった。

(2) 四国地区大学教職員能力開発ネットワークのホームページ掲載資料の利用に関するガイドライン（案）について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料2に基づき説明があり、了承された。また今後、資料を掲載する際には、以下のことを行うこととなった。

- ・このガイドラインの対象者はHP閲覧者全員とする。
- ・ガイドラインを必ず利用者が見るようにするための仕組みを作る。
- ・ホームページ上で技術的な仕組みができるまでは、加盟校専用ページを利用する。
- ・ガイドラインを示した上で、再度講師に掲載許可をとる。
- ・掲載資料の内容が著作権に抵触しないかどうかの確認を行う。

(3) SPOD 加盟校の追加等について

愛媛大学西尾教育企画課長から資料3に基づき、10月1日付けで聖カタリナ大学短期大学部が新たに加盟したこと及び高松工業高等専門学校と詫間電波工業高等専門学校が高度化再編し、香川高等専門学校になったことにより、四国地区の全ての高等教育機関（34機関）が加盟することになったとの説明があった。

(4) 平成20年度 SPOD 事業評価委員会委員からの指摘事項に対する改善状況について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料4に基づき、各項目の改善状況について説明後、愛媛大学秦准教授から、SD部門の各加盟校からの詳細なニーズについては既に、SPOD－SDプログラムに反映されつつあるとの説明ならびに、スタッフポートフォリオについては、愛媛大学で進めているが、他大学も協力できるところから試行してほしいとの依頼があった。引き続き、愛媛大学小林教授からティーチングポートフォリオの作成ワークショップを今年度行う予定であることについて説明後、SPOD事業として各加盟校に参加を呼びかけることについて提案があり、了承された。

(5) 今後のスケジュールと検討課題について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料5に基づき説明後、愛媛大学米澤人事課長から「研修プログラムガイド2010」の作成にあたって、各校の人事課の研修担当に研修日程の作成時期が速くなることを周知いただくよう依頼があった。また、愛媛大学秦准教授から4つの学会等とSPOD－SDプログラム開発やスタッフ・ポートフォリオに関して連携しながら作業を行っているとの説明があった。

(6) ファカルティ・ディベロッパー養成講座について

愛媛大学小林教授から資料6－1～2に基づき説明があり、両研修プログラムの参加者にファシリテーターとファカルティ・ディベロッパーが混在している点については、参加者別に研修を分けて実施することとなった。なお、受入人数、開催方法、場所、日程等の詳細に

については、次回以降検討することとなった。

(7) POD・SEDA カンファレンスについて

愛媛大学小林教授から、資料7-1～2に基づき説明後、参加者の中から現地での顔合わせの調整等していただく団長を決めることについて提案があり、了承された。なお、PODは徳島大学川野教授、SEDAは宮田准教授に団長をお願いすることとなり、SPOD事務局から依頼することとなった。

(8) SPODにおけるSDの定義について

愛媛大学米澤人事課長から資料8に基づき、本定義については、8月28日に開催された四国地区人事担当課長連絡会で検討を行い、9月11日のネットワークSD分科会においても了承されている旨の説明があり、了承された。

(9) 愛媛大学における「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業に係る
研修生の受入要項について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料9に基づき要項及び各様式について説明後、愛媛大学米澤人事課長から研修生の趣旨について、労働させるものではなく、インターンシップ生に近い取扱いであるものとの説明があった。また、愛媛大学秦准教授から、現在2名の研修生を受け入れる予定であること、ならびに修了証書の裏面に記載する「修了した研修プログラム内容等」については、研修プログラムよりも実績を記載する予定であることについて説明があった。

(10) 教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップについて

愛媛大学久保研究員から、資料10-1～2に基づき次の説明があった。

- ・今回の参加対象者は高等教育に限らず、初等・中等教育機関も対象となっている。
- ・学生の旅費は、負担できないため各大学で工夫してほしい（愛媛大学から研修会場までの往復は、マイクロバスが利用できる）。

また、愛媛大学小林教授から、各コア校の若手の研究員、助教にファシリテーターとして参加していただきたい、また各コア校の総合医学教育センター責任者には若手教職員の参加にご理解いただきたいとの依頼があった。

(11) 遠隔講義システム配信について

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料11-1～2に基づき、遠隔講義システムによる配信状況について説明後、今後、遠隔システムアンケートのコメントを参考に改善していくとの説明があった。

(12) 学校教育法施行規則の一部を改正する省令及び教育関係共同利用拠点の認定等
に関する規程の施行について

愛媛大学小林教授から、資料12に基づき、次の説明があった。

- ・今後の取組の将来像の1つとして、参考資料としてほしい。
 - ・平成23年度以降のネットワーク経費については、今年度中から議論しておきたい。
- また、愛媛大学西尾教育企画課長から、この件については、最新の情報が入り次第、提供していくとの説明があった。

(以 上)